市議会だより
すながわ

第182号
令和8年11月1日


3年生


1年生

砂川学園学芸会


2年生


4年生

町内会活動の維持・発展について

市民クラブ
是枝　貴裕

問 町内会は親睦と交流を通じて連帯感を深め、相互扶助はもとより見守りや防犯・防災対策及び環境保全活動等地域の安全・安心な暮らしに大きな役割を果たしています。そのため、本市においても町内会活動の発展や身近な課題の解決に向け「地域コミュニティ活動支援事業」による側面支援を行っているところですが近年は役員の担い手不足や加入者の減少等もあり、従来の活動もままならないとする町内会も少なくなく、運営はおろか維持も難しいという声も一部で聞かれます。

こういった現状を踏まえ、時代背景やライフスタイルの変化等により町内会の活動さらには存続も憂慮される事態に鑑み、今後の地域コミュニティの確保を含め、どのように対応していくか考察をより深めるべきと思いますが、これら市の考えについて伺います。

答 町内会は自主的に組織し活動する任意団体ではありますが、会員相互の親睦や地域内の環境整備・防犯・防火・交通安全等の活動及び高齢者や子どもを見守る取組み等を展開し、住みよいまちづくりを進める上で欠かせない役割を果たしていると認識しています。このことから、現行の支援事業を推進しつつ、現在、介護福祉課と社会福祉協議会により町内会長及び役員からの聞き取り調査を行っているところであり、各町内会の課題やニーズの一層の把握に努めるとともに、他自治体の優良事例等を注視しながら加入率の向上つながる支援を検討していきます。



宮川中央団地町内会で行われた「みやかわマルシェ（食品等の販売）」の様子

新たな防災気象情報による避難体制について

公正会・市民の声連合
武田　真

問 線状降水帯による大雨が全国で多発しています。本市では昭和56年洪水や平成28年豪雨の教訓を有しており、特に平成28年には内水氾濫リスクが急上昇しました。新たな防災気象情報では警戒レベル3で高齢者等避難が求められており、避難時間の確保が課題です。

そこで市内の洪水・内水氾濫リスクをどう認識しているのか、高齢者等の避難完了に必要な時間をどう見積もり、伝達に反映させるのか伺います。

答 近年、全国各地で線状降水帯による大雨が頻発し、想定を超える降水量を記録している現状から、本市における洪水・内水氾濫は重大なリスクと認識しています。洪水がいつ発生してもおかしくない基準に、3時間程度で到達する予測がなされたとき、警戒レベル4危険警報が発表されることから、高齢者等避難については4時間前の発令を考えています。

伝達手段については、広報車やホームページ等を活用し、迅速かつ正確な情報伝達に努めます。

洪水時の避難経路について

問 避難経路の所要時間・危険箇所の確認等、実践的な検証をしていく考えについて伺います。

答 令和8年度、気象防災アドバイザーによる防災講話や、避難経路の時間測定も行いました。

今後、自主防災組織等に実践的な検証の取組みについて提案し、地域防災力の向上と市民の防災意識の向上に努めます。



2016.8.20パンケ歌志内川

砂川市立病院について

公正会・市民の声連合
小黒　弘

問 砂川市内の開業医は大きく減少しています。また、これまであった地域包括ケア病棟も廃止され、今後とも、これまで担ってきた「市民のための市立病院」の役割を続けられるのか伺います。

答 新病院開院以来、高度急性期・急性期医療の拠点病院として、救急医療および高度な専門医療と一般診療を担ってきました。

今後の医療再編においても、こうした基幹的な役割を基本とする方向性に大きく変わりはないものと考えています。

問 高度急性期・急性期医療に特化した市立病院となれば、多くの医療人材、そして高度な医療機器を備えなければなりません。

しかし、コロナ禍以降、病院経営は非常に厳しくなっています。

そのような状況の中、人口1万5千人弱の砂川市が市立病院を支えられるのか伺います。

答 砂川市のような人口規模の自治体が単独で、高度な医療機能等を将来にわたって維持していくことには、大きな課題があると認識しており、地域全体で医療機能を補完し支え合う体制へ転換していくことが必要で、そのための一つの手段として進めているのが「地域医療連携推進法人」の設立です。

このように、中空知圏域全体で機能を分担し合う仕組みを活用しながら、市立病院自らが経営の効率化と工夫を重ねていくことが、厳しい環境下においても病院を将来にわたって維持していくための重要な取組みであると考えています。



砂川市立病院

道の駅設置可能性について

創生会
伊藤　俊喜

問 全国には1千231の道の駅が登録されています。このうち、高速道路のハイウェイオアシスに併設する形で登録された道の駅が10カ所以上ありますが、北海道にはまだ1つもありません。ハイウェイオアシスに道の駅が登録されるならば、砂川市の持つ価値や魅力の更なる発信につながるものと考えますが、市の見解を伺います。

答 国土交通省が定める基準をクリアすることが前提となり、そのためには24時間化に向けた既存施設、事業者との調整のほか、施設内の人的警備、清掃、運営体制の確保の課題などがあります。

問 一般的に新しく道の駅を作る場合、交通量を調査して場所を選定し、広大な土地を用意して建物を建設して、その建物を運営する事業者を選定して魅力ある商品を揃えて運営していく一連のプロセスが必要です。

しかし、砂川市の場合はほとんど条件が揃っていて、すでに35年以上も続けている砂川ハイウェイオアシスがあります。道の駅を作り上げるのに10のプロセスが必要ならば、すでに8か9くらいまでは揃っている状況です。大きな投資をしなくても道の駅という名前のスパイスを足してあげれば効果を発揮すると思いますが、設置に向けた可能性について伺います。

答 ハイウェイオアシスに道の駅が実現できれば砂川市に新たな付加価値ができるものと考えます。

課題はありますが、解決が可能なのか、1つ1つ調査をしていきたいと考えています。



学校統廃合の市政への影響と対応について

創生会
山下　克己

問　令和８年４月に砂川市立砂川学園が開校し、石山中学校を含め市内の５つの小学校と２つの中学校が統廃合により閉校しました。

　学校施設は単に教育機関としての役割だけではなく、市政における様々な行政課題の解決に重要な役割を担う施設です。学校施設が複数なくなることによる市政への影響や今後の対応について明確に示されていないことから、不安に思う市民の声も聴きます。

　そこで、学校統廃合に伴い、学校施設の避難所としての防災機能のあり方をどのように検討し対応したのか伺います。

答　閉校となった５つの小学校のうち、閉校後に校舎等の利用が見込まれない旧北光小学校及び旧砂川小学校については、現段階では跡地利用が決まっておらず、電気・水道などの設備は引き続き使用することができ、トイレや暖房は市の防災備蓄品で対応できることから、当面、指定避難所の指定を決定したところです。

問　学校統廃合に伴い、廃校の利活用のあり方をどのように検討し対応したのか伺います。

答　学校施設の使用団体や市の関係部署が活動を継続する場を確保するため、令和５年11月より庁内の関係部署による会議を開催して検討を進めるとともに、関係団体との協議を行ったところです。

　こうした取組みをはじめ、各学校施設の立地条件や老朽化の度合い、維持管理経費などを総合的に勘案して、関連する条例の制定・改正を行ったところです。



敬老助成券交付事業について

公正会・市民の声連合
沢田　広志

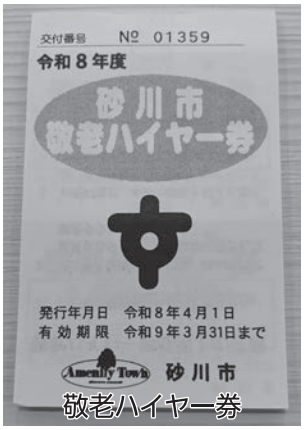
問　市は生きがい活動助成事業として、市民税非課税で75歳以上の在宅高齢者へ、敬老バス券・敬老入浴券・敬老ハイヤー券のいずれか一つを交付しています。現状の取組み内容と利用実績について伺います。

答　敬老助成券交付事業の交付対象者は、毎年４月１日現在に住民基本台帳に登録されている方のうち、当該年度に75歳以上に達する在宅者で市民税非課税者となります。交付内容は、６千円相当の敬老バス券・敬老入浴券・敬老ハイヤー券のいずれか一つを選択し、敬老バス券は、北海道中央バス㈱の120円券10枚と60円券１枚がセットの回数券５冊、敬老入浴券は、市内銭湯で利用できる500円券12枚、敬老ハイヤー券は、100円券60枚交付しており、乗合タクシーの利用も可能です。

　利用実績は、令和７年度の交付対象者は２千763人、交付者数は、１千695人、交付率61・35％で敬老バス券211人、敬老入浴券13人、敬老ハイヤー券１千471人で、実際の利用割合は、敬老バス券は使用期限がないため把握はできませんが、敬老入浴券は83・97％、敬老ハイヤー券は83・08％です。

問　物価高騰、ハイヤー料金の値上げ等、助成額の増額改定への新年度へ向けた考えについて伺います。

答　ハイヤーの初乗り運賃が改定され、入浴料金やバス運賃も改定の動きがあることから、来年度へ向けて助成額改定の検討を進めていきます。



敬老ハイヤー券

常任委員会の活動

常任委員会は定例会が開かれる月（3月・6月・9月・12月）以外に、毎月開催されます。
今回は7月・8月の常任委員会質疑を取りあげています。

総務文教委員会の質疑 【7月27日、8月27日開催】

【行財政等について】
(7月)
★令和9年度職員採用登録試験（保育職・建築技術職に係る一次試験）の実施について
★令和7年国勢調査の速報値について（2委員）
★生成AIツールの活用について（2委員）
★市役所庁舎内の温度管理について
★ユースエール認定制度の認定基準と市役所の状況比較について

【市立病院事業について】
(7月)
★経営収支状況について（5～6月分）（2委員）
★診療科別患者数の状況について（5～6月分）（2委員）
★令和8年度診療報酬改定について
★脳卒中集中治療室（SCU）について
★中空知地域医療構想調整会議の進捗状況について
(8月)
★経営収支状況について（7月分）
★一般社団法人中空知メディカルケアネットワークの設立計画について
★分掌事務の見直しについて
★職員採用の取組みについて
★消化器センターについて

【教育行政について】
(7月)
★砂川市高等学校教育を考える会について(2委員)
★いじめの問題に係る調査について
★旧小中学校備品の譲渡会について
★海洋センター体育館の臨時休館について
★夏休み中の学校施設の開放について

社会経済委員会の質疑 【7月28日、8月21日開催】

【市民生活行政等について】
(7月)
★信号機の新設・移設について
(8月)
★予約型乗合タクシーのまちなか乗降地について
★市指定ゴミ袋について
★公共交通機関としてのスクールバスの活用について

【保健福祉行政について】
(7月)
★最高裁判決を踏まえた生活保護費の追加給付について
★子育て支援センターについて
(8月)
★生活協同組合コープさっぽろとの包括連携協定の締結について
★砂川市高齢者保健医療福祉推進協議会の開催について
★要支援・要介護認定者数について

【建設行政及び下水道事業について】
(7月)
★JR砂川駅のエレベーター設置について
★駅前広場について
(8月)
★市有地(宮川団地跡地)追加販売について(2委員)
★公営住宅の入居者について

【経済行政について】
(7月)
★ヒグマの出没状況と対策について
★プレミアム商品券について（2委員）
(8月)
★ヒグマの出没状況と対策について（2委員）

令和８年 第３回砂川市議会定例会議決結果表

議案番号	件　　名	議決年月日 議決結果
議案第１号	令和８年度砂川市一般会計補正予算（第３号）	8. 9. 8 原案可決
議案第２号	令和８年度砂川市国民健康保険特別会計補正予算（第１号）	8. 9. 8 原案可決
議案第３号	令和８年度砂川市介護保険特別会計補正予算（第２号）	8. 9. 8 原案可決
議案第４号	砂川市監査委員条例等の一部を改正する条例の制定について	8. 9.10 原案可決
議案第５号	砂川市認可地縁団体印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	8. 9.10 原案可決
議案第６号	砂川市福祉医療費助成条例の一部を改正する条例の制定について	8. 9.10 原案可決
議案第７号	砂川市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	8. 9.10 原案可決
議案第８号	砂川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例の制定について	8. 9.10 原案可決
議案第９号	砂川市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	8. 9.10 原案可決
議案第10号	砂川市中小企業等振興条例等の一部を改正する条例の制定について	8. 9.10 原案可決
議案第11号	砂川市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	8. 9. 8 原案可決
議案第12号	砂川市教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	8. 9.10 同　意
議案第13号	砂川市固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	8. 9.10 同　意
議案第14号	令和７年度砂川市一般会計決算の認定を求めることについて	8. 9.10 閉会中 継続審査
議題第15号	令和７年度砂川市国民健康保険特別会計決算の認定を求めることについて	8. 9.10 閉会中 継続審査
議案第16号	令和７年度砂川市介護保険特別会計決算の認定を求めることについて	8. 9.10 閉会中 継続審査
議案第17号	令和７年度砂川市後期高齢者医療特別会計決算の認定を求めることについて	8. 9.10 閉会中 継続審査
議案第18号	令和７年度砂川市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定を求めることについて	8. 9.10 閉会中 継続審査
議案第19号	令和７年度砂川市病院事業会計利益の処分及び決算の認定を求めることについて	8. 9.10 閉会中 継続審査
議案第20号	専決処分の承認を求めることについて	8. 9. 7 承　認
報告第１号	令和７年度砂川市健全化判断比率の報告について	8. 9.10 報告済
報告第２号	令和７年度砂川市下水道事業の資金不足比率の報告について	8. 9.10 報告済
報告第３号	令和７年度砂川市病院事業の資金不足比率の報告について	8. 9.10 報告済
報告第４号	監査報告	8. 9.10 報告済
報告第５号	例月出納検査報告	8. 9.10 報告済
意見案第１号	道教委「これからの高校づくりに関する指針」（改定版）を見直しすべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書について	8. 9.10 原案可決
意見案第２号	非核三原則の尊重と堅持を求める意見書について	8. 9.10 原案可決
意見案第３号	ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書について	8. 9.10 原案可決
意見案第４号	国土強靭化に資する社会資本整備等に関する意見書について	8. 9.10 原案可決

砂川高校の生徒と語る
「砂川と地域の未来を考える」

市議会では今後の議会活動に反映させるため、市民に身近で開かれた議会を目指し、議会活動の概要を報告するとともに、市民の皆さんと懇談することで、今後の議会活動に反映させることを目的として、平成29年度より「議会懇談会」を開催しております。今年度も昨年度に引き続き、砂川、そして日本の将来を担う砂川高校の2年生49名と「砂川と地域の未来を考える」について懇談を予定しています。懇談会実施後には報告書を市ホームページに掲載します。

◆昨年度の様子◆







日　時　11月18日(水)　14：00～15：15
会　場　市役所４階　議場
内　容　砂川高校の生徒との懇談

会議の開催状況

（８月）21日　社会経済委員会
27日　総務文教委員会
31日　議会運営委員会

（９月）７日　議会運営委員会
７日～10日　第３回定例会
10日　決算審査特別委員会
議会広報編集委員会
29日　議会広報編集委員会

（10月）１日　決算審査特別委員会
議会運営委員会
８日　議会広報編集委員会
21日　総務文教委員会
22日　社会経済委員会

行政視察受入れ状況

１０月６日
○当別町議会　総務文教常任委員会
・庁舎建設について

１０月７日
○茨城県水戸市議会　政和維新（会派）
・かわまちづくりについて

市議会の様子をインターネット上で配信しています。

砂川市議会
事務局

住　　所：砂川市西７条北２丁目１番１号
電話番号：０１２５－７４－８７９６
Ｅメール：gikai@city.sunagawa.lg.jp
ホームページ：https://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/shisei/shigikai/index.html

思い出の宮川団地が、新しい家族の風景へ

かつて子どもたちの歓声が響き、多くの家族の営みを包み込んできた宮川団地。市民の皆様にも馴染み深いあの場所が今、新たな分譲地として生まれ変わっています。

第1弾の好評を受け、10月1日から新たに6区画の販売がスタートしました。スーパーや病院が近く暮らしやすい立地に加え、子育て世帯や市内でお勤めの方などは、通常価格から最大50％割引（108万円～）となる市の支援も用意されています。



団地の窓からこぼれていた温かな灯は、これから建つ新しい家々へと静かにバトンタッチされていきます。ご家族やお知り合いでマイホームをお考えの方がいらっしゃいましたら、ぜひ思い出の詰まったこの新しい舞台をご紹介ください。

■宮川団地跡地分譲（第2弾）

- 場　所：西6条南11丁目　　• 販　売：新規6区画（10月19日現在残り３区画）
- 価　格：217万～218万円（※条件により最大50％割引）
- 問合せ：市役所 建築住宅課（0125-74-8758）

東京砂川会

10月19日、２年に一度開かれる東京砂川会の総会と懇親会に、市議会からも議長と社会経済委員会の副委員長が出席させていただきました。かつて砂川で働いたり、学んだりしていた方々が集まり、懇親会では近況や昔の思い出話に花を咲かせ、会場をぎっしりと埋めた多くの参加者たちは、楽しい時間を過ごしていました。このような出会いから砂川の経済発展に繋がるような交流が生まれることを切に願っています。





あとがき

砂川学園の第１回学芸会を観覧しました。子どもたちは堂々とした発表を披露し、会場は笑顔と拍手に包まれました。開校から半年、学年を超えて支え合う姿に、砂川学園らしい温かな学びを感じました。今後も子どもたちの成長を見守っていきたいと思います。

（武田）

議会広報編集委員会

委員長　鈴木　伸之　　副委員長　高田　浩子　　委員　武田　　真　　委員　山下　克己